

作成日 令和8年4月8日

令和8年度 施行

## 公立芽室病院建替改修等検討支援業務委託

((公立芽室病院事務局総務係))

公示用

公立芽室病院建替改修等検討支援業務委託

項目	単価	数量	単位	金額	備考
1. 直接人件費					
主任技術者		0	人		
理事技術者		0	人		
主任技師		0	人		
技師A		8.5	人		
技師B		0	人		
技師C		8.5	人		
技術員		2	人		
小計					
再計					
消費税 10%					
合計					

## 直接経費明細書

項 目	単 価	数 量	単 位	金 額	備 考
1 旅費交通費					
(1)打合わせ等			回		
2 その他雑費					
(1)業務報告書			部		
(2) 成果品電子データ			枚		
合 計					

## 作業内容及び技術員数表

(単位 人/日)

項 目	理事技術者	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備 考
(1) 公立芽室病院を取り巻く状況の整理					0.5	1.0	
(2) 改修・改築等の比較事業の設定							
① 施設の現状課題・将来意向の把握			1.0		1.0	1.0	
② 比較事業の設定			1.0		1.0		
(3) 各事業手法の考察							
① 改築事業の考察			3.0		2.0		
② 改修事業の考察			2.0		1.0		
③ 一部改修＋増築の考察			0.5		1.0		
(4) 各事業手法の比較			1.0		2.0		
計	0.0	0.0	8.5	0.0	8.5	2.0	

# 公立芽室病院建替改修等検討支援業務委託 仕様書

## 【業務概要】

### 1 委託業務名

公立芽室病院建替改修等検討支援業務委託

### 2 業務の目的

公立芽室病院は、昭和15年に村立芽室診療所として開設以降、昭和29年4月に町立芽室病院への改称、昭和30年2月に国民健康保険直診施設となり、平成元年から3年にかけて全面改築を行った。また、平成12年から平成13年には増改築を行い、平成14年4月に公立芽室病院と改称し現在に至る。

現在の施設は、芽室町内で唯一の入院機能を持つ医療機関であるほか、対象となる診療圏は、芽室町全域の他、清水町、新得町、鹿追町、帯広市の西部地区なども含み十勝医療圏の重要な施設となっているが、増改築以降35年を経過し、外部及び内部設備等では老朽化箇所が見られる他、改築時以降の診療科数の縮小や、近年の感染症患者の受入れに対する施設機能不足等が現在の施設の維持・存続における課題となっている。

本業務は、上記背景を踏まえ医療環境の質的向上や将来を見据えた適正な施設規模等を考慮し、規模縮小による改築や施設改修による長寿命化などの事業手法を、事業計画上の課題及びコスト等の総合的な勘案により検討するための基礎資料を作成することを目的に実施する。

### 3 対象施設

本委託の対象施設は、以下とする。

施設名	公立芽室病院
所在地	〒082-0014 北海道河西郡芽室町東4条3丁目5番地
構造	鉄筋コンクリート造一部5階建て
敷地面積	6,350.93㎡
延床面積	11,496.52㎡
建築年度	平成2年3月 全面改築第1期工事竣工 平成3年3月 全面改築第2期工事竣工

### 4 委託期間

令和8年5月1日から令和9年3月31日まで

### 5 作業項目

#### (1) 公立芽室病院を取り巻く状況の整理

施設概況等を整理するにあたり、令和3年度に専門業者への委託により整理した各種施設データ、施設修繕・改善等の記録、および上位・関連計画等での位置づけ等を更新・整理する。

#### (2) 改築・改修等の事業方針検討に向けた比較事業の設定

## 1) 施設課題及び将来意向の整理

既存施設に関する現状及び課題、将来の施設運営に関する意向等を既存資料やヒアリング等により把握し、今後の施設の在り方について検討方向性を整理する。

## 2) 比較を行う事業手法の設定

令和3年度の検証による改修方向性の他、現敷地での改築等、意向を踏まえ、比較を行う事業手法を設定する。なお、現状では、以下の事業手法を想定する。

### <比較事業候補>

- ・改築（意向把握により診療科数や病床数等の将来意向により規模を想定し考察）
- ・改修（公立芽室病院長寿命化計画内容に準拠し改修費用の更新等について再考察）
- ・改修+一部増築（将来意向を踏まえ上記改築、改修との比較事業として考察）

## (3) 各事業手法の考察

比較する事業手法毎に事業計画及び工事工期等を考察するとともに、概算事業費を算出する。

### 1) 改築事業の考察

改築については、主に以下の内容について考察を行う。

#### ① 改築規模の設定

診療科数や病床数等の将来意向を基に、概ねの施設規模を設定する。なお、事業比較を目的とする規模想定のため、詳細な室、設備仕様等の検討までは行わない。

#### ② 改築計画の検討

現地建替を想定した場合の建設、移転、既存施設解体までの事業概要を考察する。なお、施設計画は事業概要想定を目的とするため、整備位置や規模等を模式として示す配置ボリューム図等での表現とする。

#### ③ 概算事業費の算出

改築費及び既存施設解体費等の概算事業費を算出する。なお、改築費は近年における病院整備事例等の情報収集により㎡単価を想定し、設定した改築規模に乘じ算出する。

### 2) 改修事業の考察

改修に関する考察は、令和3年度の検証に準拠し、概算事業費については上記計画にて算出した概算費用の単価入替による再算出とする。

### 3) 一部改修+増築事業の考察

ヒアリング結果等も考慮の上、比較事業として検討必要性がある場合は、改築及び改修事業の折衷案となる、一部改修及び増築の可能性等についても考察する。

## (4) 各事業手法の比較考察

### 1) 事業手法の比較

各事業案の考察結果を医療環境の質的向上の視点の他、事業実施上の課題、工事工期、概算事業費等により比較・評価を行う。

### 2) 計画の実現に向けて

上記で設定した事業案について、計画・設計・整備等の事業スケジュールを設定する。また、計画策定業務に進む上での留意点等について整理する。

## 6 成果品

### (1) 提出成果品

- ・電子データ 1式

### (2) 留意事項等

- ・電子データの成果品についてはCD-R等の汎用の電子媒体に記録したものであること
- ・電子媒体の記録形式は、閲覧及び編集が行える形式とし、別途協議すること。